

「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」を目指して

令和6年第1回市議会定例会は、2月20日～3月22日に開催されました。服部友則市長が開会日に述べた施政方針と6年度予算編成、重点施策を紹介します。

施政方針

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、日常が戻りつつあると感じられた1年でした。本市でも「八千代ふるさと親子祭」が4年ぶりの開催となったほか、タイ王国バンコク都及びアメリカ合衆国テキサス州タイラー市との国際交流も再開され、人と人とのつながりの大切さや素晴らしさを再認識する機会となりました。

また、スポーツ界では、本市出身の柔道女子48キロ級の角田夏実選手とスポーツライミングの安楽宙斗選手が、2024年パリオリンピックの代表内定を決めました。更なる活躍を期待し市を挙げて応援していきます。

一方で、経済状況は、海外景気の下振れリスクや物価高騰の影響などが懸念材料に挙げられています。本市では、物価高騰の影響を受ける皆さまに対し、国の交付金を活用した支援策を実施してきましたが、引き続き、着実かつ適切な支援に努めていきます。

こうした経済対策に加え、人口減少や少子化対策は喫緊の課題です。本市では年少人口が全国同様に減少傾向にあり、総人口も2029年をピークに減少へ転じることが見込まれるため、人口減少や少子化を踏まえた行政運営への転換が求められています。今後も、子ども・子育てに関する施策を第一に据えて、効果的かつ効果的な取組を推進するとともに、質の高い教育・保育環境の整備により、すべての子どもが健やかに育ち、誰もが子育てしたいと思うまちづくりを進めます。

京成本線沿線の地域活性化に向けては、新たに策定した「都市マスタープラン」や「京

成本線沿線まちづくりビジョン」に基づき、地域のにぎわいの創出などに引き続き取り組めます。

また、本市DX推進方針に基づき、デジタル技術を活用した利便性の高い行政サービスの提供を目指すほか、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて、本年4月に「ゼロカーボンシティ推進室」を設置します。

近年、激甚化・頻発化している災害に対しては、引き続き防災・減災対策に努めるとともに、県内唯一となる「防災道の駅やちよ」の整備に向けて取り組んでいきます。

自治体間交流では、スポーツ交流を通じて親交を続けている北海道釧路市と、友好関係をさらに深め、多分野にわたる交流の推進を目指して、友好都市協定を締結します。

6年度は、第5次総合計画の前期基本計画が最終年度を迎えることから、掲げた目標の達成に向けて、各施策を着実に推進し、市民の皆さまが本市に住んでよかったと実感できるよう、全力で市政運営に取り組めます。

予算編成と規模

6年度当初予算では、国の動向と地方財政の課題をとらえながら、市財政の現状と課題を分析し、市税収入の大幅な増収は見込めない一方、社会保障関係経費や公共施設等の改修・更新などの財政需要の増加、また、現下の原油価格・物価高騰の影響も長期化が懸念されるなど厳しい財政状況が続く見通しの中においても、将来を見据えた持続可能な財政運営を進めながら、総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けた施策を推進するため、限られた財源を効率的・効果的に配分し「最少の経費で最大の効果」を挙げるべく、全ての事業について緊急性や必要性、費用対効果を十分に検証した上で見直しに取り組むこととし「市民の安心・安全への対応」、「財政健全

化への対応」、「総合計画等の着実な推進」、「原油価格・物価高騰等への対応」、「効率的な執行体制の確立と職員の能力・資質の向上」の5つの基本的方針に基づき予算編成を行いました。

歳入では、自主財源において、繰入金で庁舎整備基金繰入金や財政調整基金繰入金が増となったほか、諸収入でデジタル基盤改革支援補助金の増を見込んだことなどにより増額となりました。また、依存財源においても、国庫支出金で物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金や児童手当負担金などの増を見込んだほか、市債で庁舎整備事業債や小学校施設整備事業債が増となったことなどにより増額となっています。

歳出では、一般職員や会計年度任用職員の人件費、民間保育園運営事業や障害児通所等支援事業などの扶助費、小学校施設整備事業や基幹情報システム管理事業などの物件費、給付金・定額減税一体支援事業（給付金分）や民間保育園運営事業などの補助費等、庁舎建設事業や小学校施設整備事業などの普通建設事業費などで増額となっています。

この結果、6年度当初予算の規模は、一般会計では、735億6,300万円で、前年度当初予算と比較すると、86億6,700万円、13.4%の増となり、本市の当初予算の規模としては過去最大となりました。

特別会計では、介護保険事業特別会計の介護サービス等諸費の増などにより、4つの特別会計の総額は351億5,288万9千円で、前年度比2.4%の増となりました。

公営企業会計については、水道事業会計と公共下水道事業会計の合計は123億7,429万2千円で、前年度比0.8%の減となりました。

なお、一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた市全体の予算規模は、前年度比8.4%増の1,210億9,018万1千円となりました。

第15回八千代ゆりのき台つじ祭りを開催します

八千代中央駅前ゆりのき通りのつつじの開花に合わせて、「八千代ゆりのき台つじ祭り」を5年ぶりに開催します。ゆりのき通りを一部歩行者天国にして、市内学校や団体による演奏やダンスのほか、模擬店も多数出店します。

▼日時 4月29日(祝)午前10時～午後5時(雨天時縮小開催)
▼場所 八千代中央駅前ゆりのき通り ▼問い合わせ 八千代ゆりのき台つじ祭り実行委員会☎080(3910)1638 (観光推進室)

4月13日(土)・14日(日)は源右衛門祭を開催します 13日(土)は新川一斉清掃も実施します

■源右衛門祭

新川の治水に取り組んだ染谷源右衛門と開削した人たちを偲び感謝する「源右衛門祭」を5年ぶりに開催します。名物の大鍋「源右衛門鍋」で作る「もちぶた炙りチャーシューバージョン豚汁」のほか、模擬店や演奏・パフォーマンスもあります。

▼日時 4月13日(土)午前9時40分～午後4時、4月14日(日)午前10時～午後4時(小雨決行) ▼場所 八千代総合運動公園多目的広場 ▼問い合わせ 源右衛門祭実行委員会事務局(八千代商工会議所内) ☎(483)1771 (観光推進室)

■新川一斉清掃

印旛沼へ注ぐ河川の水質保全を目的として、新川周辺の清掃活動を実施します。動きやすい服装でお越しください。集合場所は八千代総合運動公園多目的広場の環境政策課ブース。

▼日時 4月13日(土)午前10時から1時間程度を予定。受け付けは午前9時20分から。(小雨決行。荒天の場合は翌日14日(日)に順延) (環境政策課☎(421)6765)

募集 八千代フリーマーケット出店者

不要品の有効利用を目的にフリーマーケットを開催します。市内在住の成人が対象。募集する区画数は85区画で、応募者多数の場合は抽選。営利目的での出店やパネル展示、チラシ配り、飲食物・動植物、手作り品の販売はできません。

▼日時 5月12日(日)午前9時～午後1時(雨天中止。予備日はありません) ▼場所 市役所駐車場 ▼出店料 500円。1区画の大きさは概ね縦4.3m×横2.3m ▼申し込み

往復はがきに住所、氏名、電話番号、出店予定品の詳細、出店参加者の人数、返信先を記入し、4月15日(月)消印有効で〒276-1850 1市役所クリーン推進課内八千代フリーマーケット

実行委員会へ郵送。応募は同一グループ・同一住所につき1通、1区画のみの利用です。複数枚の応募があった場合や記載内容に不備がある場合は無効 ▼抽選会 4月18日(木)午前10時から。抽選会への参加希望者はクリーン推進課へお問い合わせください。

(クリーン推進課☎(421)6768)